

阪神水道企業団議会で、 安心安全でおいしい水道水の 安定確保のために活動中。

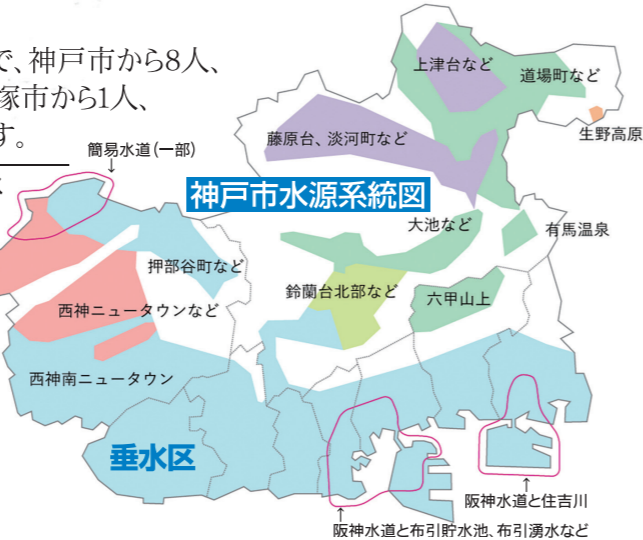
事務・技術部門を統括する
本庁舎(東灘区)



8月10日、阪神水道企業団議会の臨時会に出席いたしました。今期最初の本会議でしたので、議長、副議長、議会運営委員、そして監査委員の選任と条例改正の議案がありました。自民党神戸市議員団から、議長に村野誠一議員、監査委員に河南ただかず議員が選任されました。私は議会運営委員となりました。引き続き1年間、神戸市の水道事業のためにがんばってまいります。

阪神水道企業団議会の議員定数は15人で、神戸市から8人、尼崎市から3人、西宮市から2人、芦屋市と宝塚市から1人、となっており、年間予算規模は約200億円です。

右地図の色の地域へ、阪神水道企業団から給水を行っています。**垂水区全域が含まれます。**

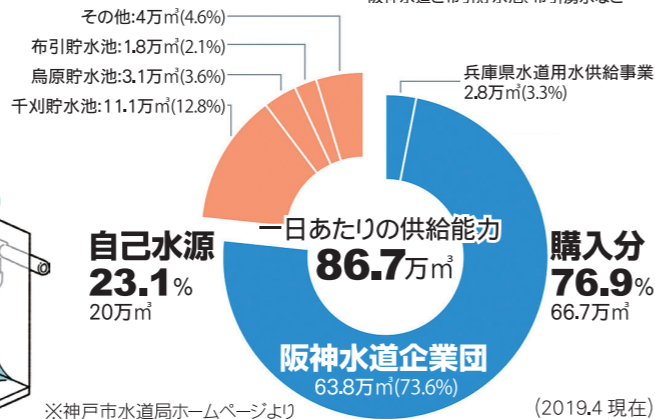


必要水量の3/4を購入

明治33年(1900年)、神戸の水道は全国で7番目の近代水道として給水を開始しました。

水源となる大きな川や湖に恵まれていないため、布引・烏原・千苧に貯水池(ダム)を建設し水を確保してきましたが、市域の拡大や人口の増加にともない水源が不足したため、昭和17年より琵琶湖・淀川水系を水源とする「阪神水道企業団」から水を購入しています。現在、神戸市の水源確保量(86.7万立方メートル/日)の約4分の3を、阪神水道企業団から購入しています。

このほか、「兵庫県水道用水供給事業」からも水を購入することで、安定した給水能力を確保しています。



こんな時は水道修繕受付センター【神戸市開設】へ

蛇口・配管の水漏れ、トイレの水漏れ、汚水の噴き出し、排水管の水漏れ. Includes illustrations and contact info for the water repair center.

Water repair center contact info: 0120-976-194, 24 hours service, website: https://kobe-wb.jp/

COVID-19 vaccine consultation info: 078-277-3320, call center details.

Infection control measures: 3 heartbeats (1. Mask, 2. Ventilation, 3. Avoidance of heat).

神戸市政報告

編集・発行: 自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL:078-322-5846
http://www.jimin-kobe.com



福祉環境委員会 委員
神戸市議員
垂水区

しらくに高太郎

しらくに高太郎事務所/〒655-0013 神戸市垂水区福田2丁目3-16 TEL:078-704-6060 FAX:078-709-5252 E-mail:info@shirakuni.net

特集 令和3年6月25日、本会議において一般質問を行いました。ウラ面に議事録[抜粋]を掲載いたしました。ぜひ、ご一読ください。

新型コロナウイルス 神戸市の感染状況

感染者の約8割が、十分な距離を取らず、マスクを外して会話していました。

- 直近2週間の感染者状況:30代以下が62.2%
70歳以上の新規感染者は全体の約3%に激減
ワクチン、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防するもので、神戸の医療体制を守るため、ワクチン接種を安全かつ迅速に進めていきます。

垂水区塩屋地域の取り組み しおかせ 塩屋コミュニティバス

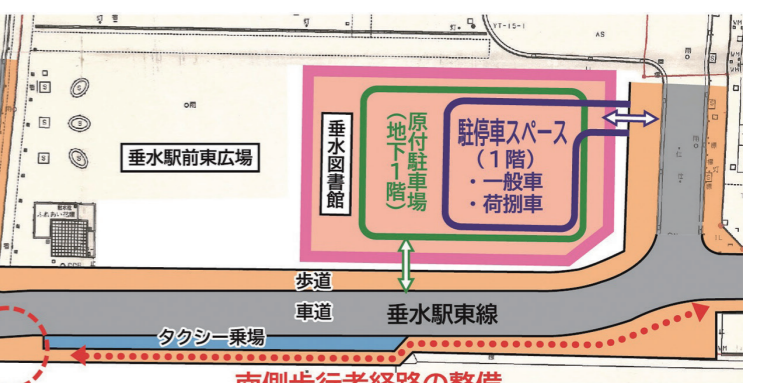
利用者数累計10万人達成!!
塩屋地域は、道路幅が狭くバス運行が難しい地域であることから、コミュニティ交通を導入しました。

しらくに高太郎の今年度諸役

- 福祉環境委員会委員
市会運営委員会委員
大都市行財政制度特別委員会副委員長
神戸市保健医療審議会委員
自由民主党神戸市議員団幹事・会計
阪神水道企業団議会議員

垂水駅東線の 歩道整備について

JR垂水駅東口側の山陽タクシー乗り場前の歩行者滞留空間の確保と、駐輪場間までの歩道確保について、これまで神戸市と何度も意見交換をし、また「山陽さん」へご協力もお願いしてまいりました。そしてこの度、ご理解をいただき、整備への道筋をつけることができました。



福祉環境委員会



福祉局に対しては、フレイル予防の推進と老人ホーム等への入居者への家族面会について質疑致しました。

コシノミチコさんと意見交換しました



私からの依頼で世界的ファッションデザイナー「コシノミチコ」さんに神戸市会へお越しいただき、市会議長をはじめ神戸市幹部の方々とはファッションに関する意見交換を行いました。



令和3年 第1回定例会市会 本会議で 一般質問を行いました。

令和3年6月25日

1 今後の危機管理体制・ 経済対策について

① 今後の危機管理体制

■質問:しらくに高太郎

ワクチン接種に向けて全庁挙げて取り組んでいる点は評価するが、昨年7月に作成した「新型コロナウイルス感染症対策第1次対応検証結果報告書」での課題は改善されてきたのか。

また、しかるべき時期に、再度対応を検証し、今後の危機管理体制の再構築に活かすべきと考えるが。

■答弁:久元市長

特に重要な課題として、感染再拡大に備えた医療・検査体制の確保、保健所の体制整備、マスクなどの医療用資器材の備蓄というようなどころであった。医療・検査体制としては、直ちに検討を行い、中央市民病院に臨時病棟36床を開設し、全国初で運用を開始した。官民連携による検査体制も順次拡充し、4月以降1日1300検体、保健所の体制としては、全庁的に応援体制を組み、昨年度と今年度も保健師を採用し拡充した。医療用資器材についても、必要数確保してきたところである。

しかし、第3波から3月以降、爆発的な感染拡大が起こり、危機的な状況になった。これらについては、やはり反省点としてはあると考えている。状況の推移を見ながら、再度検証作業の取組を始めたいと考えている。

② 神戸経済回復への取り組み



■質問:しらくに高太郎

コロナ禍で疲弊する神戸経済の回復に向けてどのように取り組むのか。

■答弁:今西副市長

神戸経済の復活のためには、

まず何と言ってもワクチン接種の加速が何より大切と考え、今全力で取り組んでいるところである。

その上で、家賃サポート緊急一時金やキャッシュレスポイントの還元事業、市内宿泊促進するリピーターの獲得キャンペーン、また神戸市中小企業DXお助け隊事業や中小製造業投資促進等の助成、さらに駅周辺のリノベーションや六甲山スマートシティ構想の推進などなど、神戸の魅力向上を進め、コロナ禍に直面している神戸経済の維持・回復と持続的成長につなげて参りたいと考えている。

③ ワクチン接種の推進

■質問:しらくに高太郎

ワクチン接種をオール神戸市で推進するのであれば、外郭団体に対しても職員の派遣を求めるべきではないか。

■答弁:今西副市長

団体の規模や本来業務に関わる体制などを踏まえた上で、集団接種会場の運営などへの協力について、協議して参りたいと考えている。

2 道路行政の推進について

① 小東山6丁目交差点

■質問:しらくに高太郎

小東山6丁目交差点付近では、大規模集客施設や住宅などの開発が継続的に進められているが、それを支えるための道路が足りておらず、明らかにキャパシティを超えており、道路ネットワークを見ても、現状は6丁目交差点に集中するような構造になっている。交差点西側の国道2号の西行きは、片側1車線が実質2車線として使われており改善の余地はあると考えるが、これらの点も含め、国等の関係者ととも検討をし、エリア全体で総合的な渋滞対策を推進していくべきと考えるが。

■答弁:油井副市長

土日祝祭日、また時間帯によってまだ混雑が見られるなどの問題があることは十分認識しているところだ。ご指摘の国道2号のバイパスの側道の件は、国土交通省のより令和3年度に多聞跨道橋交差点に向かう西行きの右折レーンの設置など車線運用の見直しが予定されている。

今後、今後国や県警などで構成される兵庫地区渋滞対策協議会や周辺の大規模集客施設などと問題意識を共有し、原因について詳細に把握して参りたい。その結果を踏まえ、ハード・ソフトの総合的な渋滞対策について検討していきたいと考えている。

② 南北軸の強化

■質問:しらくに高太郎

このエリア周辺の開発のスピードも速く、神戸市の開発行政と道路計画のミスマッチというか縦割りといった弊



害が周辺の渋滞を引き起こしているのではないかと、私は厳しく捉えている。そこで、全体の道路ネットワークをみ

■答弁:油井副市長

交通需要の増加傾向が続いており、いろんな対策を実施してきたが、渋滞解消には至っていないのが現状である。周辺地域の未利用地の土地利用を想定し、当該地域の将来の交通量をまずは推計して、それを基に南北軸の強化の必要性も含めて道路ネットワークのあり方を関係部局と連携して検討していきたいと考えている。

③ 須磨多聞線

■質問:しらくに高太郎

小東山6丁目交差点ともつながっている須磨多聞線について、昨年、多井畑西地区において里山・農地などを保全していく方針が示されたが、いまだこの須磨多聞線の整備が中止にならないかという危惧が少しあるが、道路計画として整備を進める方針なのかどうか、改めて伺いたい。

■答弁:久元市長

里山として基本的には保全・活用するというにしているが、西須磨・多井畑工区については、非常に重要な道路ネットワークを構成すると考えており、これを中止することは夢にも考えていない。

地元と神戸市と議論している将来像がまとまれば、それに合わせた内容で、道路の線形や構造などの計画変更も含めて整備を進めていくつもりである。

3 国・地方間の 税源配分の是正について

■質問:しらくに高太郎

地方自治体が自主的かつ自立的に事務・事業を執行できる真の分権型社会を実現するために、複数の基幹税からの税源移譲などを、例年、国に対して要望しているが、状況は一向に改善されていない。他の指定都市とも連携して取り組んではいるが、神戸市としても他の要望と横並びではなく、最重要課題との意識を持って取り組むべきと考えるが。

■答弁:久元市長

これまで、指定都市市長会、指定都市議長会と一緒に国に対して様々な提言や要望を行ってきた。神戸市として財源の確保は非常に重要である。

また一人当たりの税収も20の指定都市中10番前後という状況なので、税源の確保は重要であるとの認識を持って、市会のお力添えをいただきながら、粘り強く要望活動を行っていきたく考えている。

4 LRT導入の検討について

■質問:しらくに高太郎

これまで我が会派からも質疑を重ねてきたが、多くの課題があり、導入可否の判断が難しいとの答弁であったが、今年3月の市長会見で、三宮・ウォーターフロント開発に伴い、市長からも将来のLRTの可能性への期待について言及があった。今後どのように検討を進めていくのか。

■答弁:久元市長

これは、そう簡単ではないが、人口減少時代、高齢社会の中で、人に優しい移動手段として非常に魅力的なものであると考えてきた。中長期的な神戸の未来を考えていく上で回遊性とまちづくりの両面から検討していきたい。出来るだけ早く様々な分野の経験を持つ方々に参加をしていただく意見交換会というものを設けたいと考えており、今年度開催し、この意見交換会の成果を今後のLRTの検討に生かしていきたいと考えている。



福祉環境委員会 委員 神戸市会議員 垂水区

しらくに高太郎

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会 Q検索



より良い神戸・垂水へ。目標にダッシュ!!

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。



市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。※マスク着用。発熱(37.5℃以上)など、風邪症状があるときは、ご遠慮ください。